



## 議長抱負 水門義昭

高山市議会は制定した議会基本条例に則り「議会のあるべき姿」「議員としてのあるべき姿」を全議員が一丸となって進めてきました。

今年度は議会活動、委員会活動をさらに活発に推進していきます。

特に令和5年度は高山市のまちづくりの根幹である第九次総合計画の策定の準備や自治基本条例（仮称）の制定など議会への協議が組み込まれています。更に各常任委員会では市民の声をしっかり市政に反映するために、調査項目を掲げて取り組み、執行部への提言をまとめ上げる活動を進めています。

そして前年度全議員で活動した議員定数の議論から、議会のあるべき姿への課題であり、「市民に寄り添った活動」として掲げた、議会機能の維持・向上のための今後の取り組みは以下のとおりであります。

- ① 議会の存在意義や役割についての市民理解の促進
- ② 民意吸収機能の向上
- ③ 議会活動の水準の維持・向上
- ④ 複雑化・多様化する行政課題への的確な対応
- ⑤ 支所地域の課題の把握と解決策の提起
- ⑥ 女性や若者の政治参加の促進

この6項目に対して具体的な取り組みを推進します。

その中の一つとして、女性や若者の政治参加の促進については、これまでに行ってきた市民との意見交換会を工夫し、市民に寄り添った町内会組織という、出来るだけ市民に直結した地域を選出して意見をお伺いできる機会を作りたいと思います。その中で、若い人たちや女性の方々のご意見をお聞きし、市議会や政治に興味を持っていただくことを進められたらと強く感じています。

今年度は新たな議員が就任されました。これまで以上に「チーム議会」として高山市議会が市民にとって頼りがいのある機関となるように力を注いでいきますので、市民の皆様には議会へのご支援をお願いいたします。



## 副議長抱負 榎 隆司

議員として3期目の最初の年に、高山市議会第89代副議長の大役を拝命し身の引き締まる思いです。副議長の役割は議長の補佐として、議会運営のサポート役であり助言者でもあり、ときには議長代理として公務を担うこともある重要な立場であり、その責務は大変重いものと感じています。新型コロナウイルス感染症による閉塞感からようやく解放の兆しが出、通常の生活が戻り始め、市内にもインバウンドを含め多くの観光客の方々が来高され、商店街等に活気が戻ってきました。しかし、油断できない状況でもあります。だからこそ、今後のアフターコロナを見据えしっかりした議論を実行する必要があります。市議会の基本条例に議会基本理念があります。「①市民の代表機関として、市民と情報を共有し、市民の意見を市政に反映させる。②二元代表制の一翼を担う議事機関として、市長その他の執行機関の執行を監視及び評価し、政策提言を行うとともに政策立案に努める。」とあります。今年度から広報広聴委員会を、議会活動等をお伝えする広報部会と市民の意見をしっかり受け止める広聴部会に分け、全議員が所属し活動することになりました。市民の意見等をしっかり把握し行政からの議案の議論、議員調査活動からの提言等をしっかり実行し、「開かれた議会」「責任ある議会」の構築に向け精進してまいります。皆様には引き続き御指導、御鞭撻をどうかよろしくお願いたします。